

◇ 環境保全年表 ◇

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
1949 (昭 24) ～ 1966 (昭 41)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号区立公園の荻窪公園開園(昭和12年8月) ・関根文化公園開園(昭和25年4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都で全国初めて「工場公害防止条例」制定(昭和24年) ・東京都清掃条例公布(昭和29年) ・14号地(夢の島)ごみ埋立処分場埋立開始(昭和32年) ・公害部を設置(昭和35年) ・都立善福寺公園開園(昭和36年) ・東京にスモッグが連続発生し、社会問題化(昭和37年) ・都立和田堀公園・善福寺緑地公園開園(昭和39年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水俣病患者はじめて発生(昭和28年) ・「工場排水規制法」「水質保全法」制定(昭和33年) ・四日市ぜんそく患者多発(昭和36年) ・「ばい煙規制法」公布(昭和37年) ・阿賀野川流域で水俣病患者発見(昭和40年) ・安中にイタイイタイ病患者発見(昭和41年)
1967 (昭 42)		<ul style="list-style-type: none"> ・杉並清掃工場都市計画事業決定(5月) ・上記事業決定に住民側が取消し訴訟を提起(7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟水俣病、四日市ぜんそく被害者訴訟提起(3月) ・「公害対策基本法」公布(3月)
1968 (昭 43)		<ul style="list-style-type: none"> ・東京都公害研究所設立(4月) ・東京電力と公害防止協定締結(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山イタイイタイ病被害者訴訟提起(3月) ・「大気汚染防止法」「騒音規制法」の公布(6月)
1969 (昭 44)	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区建築部に公害課を新設(4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「騒音規制法」「工場公害防止条例」及び「騒音防止条例」が事務委任される。(4月) ・「東京都公害防止条例」公布(7月) ・大気汚染コントロールセンター設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・硫酸酸化物に係る環境基準の閣議決定(2月) ・「公害白書」閣議決定(5月) ・水俣病患者訴訟、大阪国際空港騒音訴訟提起 ・「公害に係る健康被害に関する特別措置法」の公布(12月) ・東京都、神奈川県、川崎市で「広域大気汚染防止に関する協定」(12月)
1970 (昭 45)	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区公害レポートを発行(2月) ・杉並区「立正高校」光化学スモッグ被害発生(7月) ・杉並区公害対策協議会の結成(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・都立衛生研究所と世田谷区役所前にてオキシダント注意報、警報の発令体制(7月) ・「公害都議会」(昭和45年第2回都議会臨時会)が開かれる。公害問題について集中審議が行われる。(8月) ・オキシダント注意報、警報の前日予報体制確立(8月) ・東京都公害局設置(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一酸化炭素に係る大気環境基準設定(2月) ・公共用水域の環境基準決定(4月) ・新宿牛込柳町で鉛公害発生(5月) ・「公害紛争処理法」の公布(6月) ・田子ノ浦ヘドロ公害表面化 ・中央公害審査委員会(公害等調整委員会の前身)発足(11月) ・第64回臨時国会(公害国会)で公害関係6法律制定、「公害対策基本法」等公害関係14法の制定・改正(12月) ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(旧清掃法の全部改正)公布(12月)
1971 (昭 46)		<ul style="list-style-type: none"> ・「都民を公害から防衛する計画」公表(1月) ・「東京都公害監視委員会」発足(4月) ・都知事、都議会で「ゴミ戦争宣言」(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音に係る環境基準を設定(5月) ・「悪臭防止法」公布(6月) ・環境庁発足(7月) ・中央公害対策審議会発足(9月) ・水質汚濁に係る環境基準告示(12月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
1972 (昭 47)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区公害監視委員会発足 区民部に環境課設置 (4月) 児童交通公園開園 (4月) 公害測定室を区庁舎敷地に建設 (6月) 緑化基本調査 	<ul style="list-style-type: none"> 「東京都清掃条例」公布 (3月) 「東京における自然の保護と回復に関する条例」公布 (10月) 「東京地域公害防止計画」制定 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 初の「環境白書」を発表 (5月) 国連人間環境会議ストックホルムで開催－人間環境宣言－ (6月) 「自然環境保全法」の公布 (6月) 環境週間の設置 「公害等調整委員会設置法」公布 (7月) 「自動車排出ガスの量の許容限度」(48年度規制)の告示 (12月)
1973 (昭 48)	<ul style="list-style-type: none"> 「みどりの条例」制定 (10月) 「神田川水系水質監視連絡協議会」(杉並、中野、新宿、文京、千代田、中央の6区)発足 (11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤内側ごみ埋立処分場埋立開始 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染に係る環境基準(二酸化窒素、光化学オキシダント)の設定 (5月) 「環境週間」を全国的に実施 (6月) 「都市緑地保全法」公布 (9月) 「瀬戸内海環境保全臨時措置法」の公布 (10月) 「公害健康被害補償法」の公布 (10月) 航空機騒音に係る環境基準の設定 (12月)
1974 (昭 49)	<ul style="list-style-type: none"> 組織改正により環境部環境課、公害課となる。(4月) 杉並区公害レポート～杉並区の公害～刊行(この号より年1回年報形式となる) 資源再利用事業を都の補助金を受け開始 (10月) 「ユスリカ対策専門委員会」発足(中野、新宿、文京、中央、千代田、杉並、豊島、板橋、練馬の9区) (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 分別収集(週1回、不燃・焼却不適ごみ)23区で実施 東京都史上初の「光化学スモッグ警報」発令 杉並清掃工場建設について和解成立 (11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 国立公害研究所の発足 (3月) 酸性雨の被害発生 「大気汚染防止法」の一部改正(総量規制の導入) (6月)
1975 (昭 50)	<ul style="list-style-type: none"> 中央自動車道高井戸ランプ問題で五者協議発足 (5月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「環状七号道路の自動車公害等に対する対策会議」(環七対策会議)発足 (6月) 東京都「光化学スモッグ警報」発令 (7月) 	<ul style="list-style-type: none"> PCBについての水質汚濁に係る環境基準・排水基準の決定 (2月) 江東区、江戸川区を中心に六価クロム問題発生 (7月) 新幹線騒音に係る環境基準の設定 (7月) 絶滅の恐れのある野生動植物の種の国際取引に関する条約(ワシントン条約)発効 (7月) 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(通称世界遺産条約) (12月) 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(通称ラムサール条約) (12月)
1976 (昭 51)	<ul style="list-style-type: none"> 中央自動車道、放射5号線問題で五者協議会確認 (4月) 中央自動車道の大气汚染、騒音測定の実施について日本道路公団と協定 (4月) 		<ul style="list-style-type: none"> 「騒音規制法」公布 (6月) セベソ事件(農薬工場の事故によるダイオキシン禍、住民が町を放棄) (7月) 硫酸化物総量規制の実施 (9月)
1977 (昭 52)	<ul style="list-style-type: none"> 緑化基本調査 	<ul style="list-style-type: none"> 環状七号線沿道住宅防音工事助成開始 (2月) 中央防波堤外側埋立処分場埋立開始 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止条例に基づく悪臭に係る規制基準(3点比較式臭袋法による)設定 (3月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
1978 (昭 53)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区鉄道被害住民意識調査報告書作成 (1月) 環境週間行事として、講演と映画の会を実施、区報公害特集号の発行 (6月) 杉並区自動車駐車場公害防止指針を制定 (8月) 近隣騒音住民意識調査報告書を作成 (11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 杉並清掃工場建設工事協定成立 (1月) 「東京都における環境アセスメントを考える委員会」環境アセスメント制度について答申 (1月) 「東京地域公害防止計画」後期 5 か年を改定 (3月) 「光化学スモッグ緊急時の発令基準値」改正 (4月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「隅田川水系浄化対策連絡協議会」(中央、台東、墨田、江東、北、荒川、板橋、練馬、足立の 9 区発足) (4月) 二酸化窒素の環境基準 (改定) 環境庁告示 (7月) 東京都心の大型貨物自動車等土曜日夜間の交通規制実施 (9月)
1979 (昭 54)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区衛生試験所着工 工場等公害対策基礎調査報告書作成 (3月) 杉並区悪臭判別者設置要綱作成 (4月) 地下鉄振動被害住民意識調査 (9月) 杉並清掃工場認可 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本化学工業と「六価クロム鉍滓処理に係る協定書」を締結 (3月) 環七対策会議、環七沿道環境整備構想決定 (8月) 環状七号線沿道住宅防音工事助成打切り (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本環境会議」東京で開く。「日本環境宣言」発表 (6月) 「琵琶湖富栄養化防止条例」公布 (10月) 有リン合成洗剤追放運動全国的な広がりへ
1980 (昭 55)	<ul style="list-style-type: none"> 「杉並区有リン合成洗剤使用中 止方針」決定 (3月) 「特別区公害行政 10年のあゆみ」を特別区公害主管課長会が刊行 (3月) 指定作業場実態調査 (5~7月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「東京都環境影響評価条例」公布 (10月) 「公害局」の名称を「環境保全局」に (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「幹線道路沿道整備法」公布 (5月) ラムサール条約が我が国について発効 (10月) ワシントン条約が我が国について発効 (10月)
1981 (昭 56)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区衛生試験所発足 (公害分析業務を含む) (4月) 大田黒公園開園 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「産業廃棄物処理計画」策定 (3月) 「東京都緑のマスタープラン」策定 (3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 窒素酸化物総量規制、東京、神奈川、大阪で導入決まる (5月) 瀬戸内、伊勢湾、東京都の三閉鎖性水域の水質総量規制を実施 (7月)
1982 (昭 57)	<ul style="list-style-type: none"> 緑化基本調査 	<ul style="list-style-type: none"> 東京湾富栄養化対策指導指針を策定 (5月) 杉並清掃工場操業協定締結 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 川崎公害訴訟提起 (3月) 安中公害訴訟で農民側勝訴 (3月) 国連ナイロビ会議、ケニアで開催 (5月) ばいじん排出基準の規制強化 (5月) 湖沼の窒素及びりんに係る環境基準の設定 (12月)
1983 (昭 58)	<ul style="list-style-type: none"> 河川生物調査報告書「杉並区河川の生物」発行 (3月) 杉並区行政実態調査「近隣公害」実施 (7月) 	<ul style="list-style-type: none"> 杉並清掃工場本格操業開始 (1月) 環状七号線、沿道整備道路に指定 (11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 環境庁の地下水調査で有機塩素系化学物質による地下水汚染が判明 (8月) 廃乾電池による水銀汚染問題化 田子ノ浦へドロ公害訴訟、東京高裁で和解成立 (11月)
1984 (昭 59)	<ul style="list-style-type: none"> 「杉並区緑化基本計画」策定 (3月) 自動車駐車場実態調査 (6月~7月) 「杉並区自然環境調査実施要綱」制定 (8月) 環七沿道整備で「杉並環七協議会」発足 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 放射 5 号線高井戸ランプ付近の一部区間(環八通り~富士見丘通り)の供用開始 (5月) 新宿副都心リサイクルセンター運転開始 (10月) 「東京都緑の倍增計画」策定 (11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「湖沼水質保全特別措置法」公布 (7月) 「'84 世界湖沼環境会議」開催 (滋賀) (8月) 「環境影響評価の実施について」閣議決定 (8月)
1985 (昭 60)	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境調査 (昭和 60 年~62 年) 馬橋公園開園 (3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 5 月の第二土曜日を「東京都みどりの日」とすることに決定し公告 (3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「オゾン層の保護のためのウィーン条約」を採択 (3月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
1986 (昭 61)	<ul style="list-style-type: none"> 中央自動車道高井戸インターチェンジ浅間橋出口ランプ開通 (3月) 組織改正により、環境課と公害課を統合し、杉並区都市環境部環境保全課となる (4月) 蚕糸の森公園開園 (5月) 	<ul style="list-style-type: none"> メタノール自動車の都内走行試験を開始 (1月) 玉川上水に清流復活 (8月) 「公害防止条例」一部改正 (音響機器等の使用制限) を公布 (10月) 都区協議会「都区制度改革の基本的方向」取りまとめ (2月) 	<ul style="list-style-type: none"> 安中公害訴訟和解に合意し、「公害防止協定」締結 (9月)
1987 (昭 62)	<ul style="list-style-type: none"> 「東京都市計画杉並区環7沿道整備計画」決定 (1月) 緑化基本調査 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都環境管理計画策定 (10月) 「'87東京都緑の倍增計画」策定 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 環境開発に関する世界委員会 (WCED) が報告書「われら共通の未来 (Our Common Future)」を発表し「持続可能な開発 (Sustainable Development)」の考え方を提唱 (4月) 「絶滅の恐れのある野生動物の譲渡の規制等に関する法律」公布 (ワシントン条約国内法制定) (6月) 「公害健康被害補償法」一部改正 (大気汚染地域指定の解除) (9月) 「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」を採択 (9月)
1988 (昭 63)	<ul style="list-style-type: none"> 「杉並区自然環境調査報告書」発行 (3月) 写真集「すぎなみの街と自然」発行 (3月) 塚山公園 (みどりの相談所) 開園 (3月) バードサンクチュアリー整備調査 (4月～元年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 東京地域公害防止計画改訂 (3月) ごみ収集にメタノール自動車を試験導入 (5月) 「大気汚染防止法」小型ボイラー等の規制対象外の中小発生源に対し、独自の指導基準を設定 (6月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律 (フロン規制法)」公布 (5月) 環境庁、ディーゼル乗用車の NOX 規制強化 (約 30%低減) を決定 (6月) ウィーン条約及びモントリオール議定書に加入 (9月)
1989 (平成元)	<ul style="list-style-type: none"> 「第二次河川生物調査報告書」発行 (3月) トンボの園生息調査 (4月～2年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 千川上水に清流復活 (3月) ごみ減量キャンペーン (Tokyo SLIM) の展開 (6月) 東京都における地球環境問題への取組方針の策定 (11月) 「みどりのフィンガープラン」策定 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> トリクロロエチレン等を水質汚濁防止法規制対象物質に追加 (3月) 環境庁善福寺公園を「ふるさといきものの里」に選定する (4月) 「水質汚濁防止法」の一部改正により有害物質の地下浸透禁止 (6月) 「大気汚染防止法」を改正し、石綿粉じんの規制 (6月)
1990 (平 2)	<ul style="list-style-type: none"> 動植物生息状況調査 (平成2年度～4年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境保全推進協議会発足 (10月) 東京都自動車交通量対策推進本部を設置、冬季自動車交通量対策を開始 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> モントリオール議定書第2回締約国会合 (ロンドン) においてモントリオール議定書を修正、フロン等の全廃を決定 (6月) 「水質汚濁防止法」改正 (生活排水対策が追加される) (6月) 国、地球温暖化防止行動計画を策定 (10月) 厚生省ダイオキシン類発生防止案ガイドライン作成 (12月)
1991 (平 3)	<ul style="list-style-type: none"> 「リサイクル都市杉並の創造」発行 (2月) 杉並区集団回収事業開始 (10月) 「リサイクル報」発行開始 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回東京ごみ会議開催 (1月) 「ごみ減量化行動計画」策定 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律の一部を改正する法律」公布 (モントリオール議定書の改正などを受けた規制強化等) (3月) 「再生資源の利用の促進に関する法律 (リサイクル法)」公布 (4月) 環境庁「土壌の汚染に係る環境基準について」告示 (8月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
1992 (平 4)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区リサイクル推進委員会設置 (3月) 都市環境部にリサイクル担当課長設置 (4月) 集団回収実施団体の報奨金支給事業が東京都から移管 (7月) 緑化基本調査の実施 杉並区コンポスト容器購入費助成開始 (7月) 「杉並区河川水質分析データ集 (昭和 57 年～平成 3 年)」発行 (9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 回都区協議会「リサイクルの都区の役割分担」合意 (2月) 「東京都地球環境保全行動計画」策定 (5月) 「東京都環境学習基本方針」策定 (5月) 「東京都廃棄物の処理及び再利用に関する条例」公布 (清掃条例全面改正) (6月) 資源ごみ収集モデル事業実施 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 有害廃棄物の越境移動及びその処分の規制に関するパーセル条約発効 (5月) 気象変動に関する国際連合枠組み条約採択 (5月) 生物多様性に関する条約採択 (5月) 「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」公布 (6月) 環境月間 (6月) の設置 (6月) 「自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」(自動車 NOX 法) 公布 (6月) リオ・デ・ジャネイロ (ブラジル) にて地球サミット (環境と開発に関する国連会議/UNCED) 開催 (6月) 「アジェンダ 21」採択 (6月) 「環境と開発に関するリオ宣言」(6月)
1993 (平 5)	<ul style="list-style-type: none"> 「杉並区自然環境調査報告書 (第 2 次)」発行 (3月) 「すぎなみの生き物たち (すぎなみの生き物アンケート調査結果のまとめ)」発行 (3月) 自然観察ガイドブック 1「すぎなみの植物」発行 (3月) 組織改正により、都市環境部から環境部となる。(4月) リサイクルショップすぎなみ開設 (9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「東京地域公害防止計画」策定 (3月) 「東京都水辺環境保全計画」策定 (3月) 「東京都環境学習計画」策定 (10月) 「リサイクル推進計画ーリサイクル型都市東京 23 区を目指して」策定 (11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 水質汚濁防止に係る環境基準の 15 項目が追加される (3月) ラムサール条約第 5 回締約国会議 (釧路) 開催 (6月) 「環境基本法」公布 (11月)
1994 (平 6)	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察ガイドブック 2「すぎなみの鳥」発行 (3月) 杉並区リサイクル協会設立 (4月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「東京都環境基本条例」公布 (7月) 「東京都公害防止条例」改正 (7月) 「東京における自然の保護と回復に関する条例」改正 (7月) 「東京都環境学習センター」開設 (11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動に関する国際連合枠組み条約発効 (3月) 地球環境東京会議 (「東京宣言 1994」採択) (10月) 「環境基本計画」閣議決定 (12月) 「国際生物多様性の日 (12月 29 日)」制定 (国連総会) (12月)
1995 (平 7)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区リサイクル推進計画 (7～9 年) 策定 (2月) 自然観察ガイドブック 3「すぎなみの昆虫・クモ」発行 (3月) 「第三次河川生物調査報告書」発行 (3月) 「杉並区大気汚染データ集 (平成元年度～平成 5 年度)」発行 (3月) 動植物生息状況調査 (7～9 年度) 杉並区資源分別回収事業開始 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「ごみ減量のための東京ルールを考える懇談会」設置 (11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動に関する国際連合枠組み条約第 1 回締約国会議 (ベルリン) 開催 (4月) 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 (容器包装リサイクル法) 公布 (6月) 在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針を策定 (12月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
1996 (平8)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区環境基本計画策定(2月) 井草森公園開園(3月) 井草森公園周辺環境モニタリング調査(7月) 公害防止パンフレット「公害のない快適な生活環境にむけて」(10月) 井草森公園周辺アンケート調査(11月) 事業系古紙リサイクルシステムスタート(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 初の「東京都環境白書」発行(1月) 七都県市低公害車指定制度発足(3月) 杉並中継所操業開始(4月) 「ごみ減量のための『東京ルール』を考える懇談会」最終報告(8月) 事業系ごみの全面有料化の実施(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「大気汚染防止法」の一部改正公布(有害大気汚染物質対策の導入等)(5月) 国のダイオキシン類に係る許容量の基準(体重1kg当たりの1日許容量)厚生省:耐容1日摂取量10pg(6月)環境庁:健康リスク評価指針5pg(12月)
1997 (平9)	<ul style="list-style-type: none"> 井草森公園周辺大気総合調査(1月) 杉並区環境基本条例公布(3月) 杉並区フロン回収事業開始(6月) 杉並区環境審議会発足(7月) 杉並区家庭用生ごみ処理機購入費補助開始(10月) 区施設の小型焼却炉使用中止(11月) 緑化基本調査 	<ul style="list-style-type: none"> 「東京都環境基本計画」策定(3月) 「東京都における新たな環境配慮制度のあり方」(総合環境アセスメント制度検討委員会)最終報告(4月) ペットボトル店頭回収開始(東京ルールⅢ)(4月) 事業者向け再生品利用ガイドラインステップⅠ策定(4月) 古紙利用拡大緊急プラン策定(5月) 「循環型社会づくり推進本部」設置(5月) 資源回収モデル事業実施(東京ルールⅠ)(6月) 「ダイオキシン類削減のための緊急対策」実施(9月) 東京都ダイオキシン類対策取組方針(11月) 「東京都一般廃棄物処理基本計画」(東京スリムプラン21)策定(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ベンゼン・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン環境基準告示(2月) ダイオキシン類に係る大気環境指針0.8pg(4月) 環境影響評価法公布(6月) ダイオキシン類削減のため大気汚染防止法と廃棄物処理及び清掃に関する法律の施行令等の改正(8月)12月施行 気候変動に関する国際連合枠組み条約第3回締約国会議(地球温暖化防止京都会議)開催(12月)
1998 (平10)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区リサイクル推進計画(10～11年)策定(2月) 「杉並区自然環境調査報告書(第3次)」発行(3月) 「清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例」公布(10年6月1日施行)(3月) 市民緑地「清水いこいの森」開設(3月) 「すぎなみの生き物たち2(すぎなみのいきものアンケート調査結果のまとめ)」発行(3月) (仮称)高円寺清掃事業所着工(6月) (仮称)高井戸清掃事業所事務棟着工(10月) (仮称)高井戸清掃事業所車庫棟着工(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「東京地域公害防止計画」(9年～13年)策定(2月) 「東京都水環境保全計画」策定(3月) 「地球環境保全東京アクションプラン」策定(3月) 「東京都の保護上重要な野生生物種(都版レッドデータブック)」発行(3月) 「アイドリング・ストップ取組方針」策定(4月) 都市と市民の国際協力世界会議(エコパートナーシップ東京会議)開催(5月) 「小型焼却炉に係るばいじん及びダイオキシン類排出抑制指導要綱」策定(6月) 事業系し尿等の有料化の実施(7月) 「東京都の内分泌かく乱化学物質問題に対する当面の取組について(東京都環境ホルモン取組方針)」策定(7月) 「エコロジー東京」策定(11月) 「東京都公害防止条例」の一部改正(窒素・燐の排水基準設定)公布(11年4月1日施行)(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「地方自治法等の一部を改正する法律」公布(5月) 「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」成立(5月) 「外因性内分泌かく乱化学物質問題への環境庁の対応方針—環境ホルモン戦略計画SPEED'98—」策定(5月) 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の一部改正(省エネ改正法)公布(6月) 騒音に係る環境基準告示(11年4月1日施行)(9月) 「地球温暖化対策の推進に関する法律」制定(10月) 気候変動に関する国際連合枠組み条約第4回締約国会議(プエノスアイレス)開催(11月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
1999 (平 11)	<ul style="list-style-type: none"> ・「杉並区みどりの基本計画」策定 (3月) ・小型焼却炉使用状況調査 (3月) ・「自然と遊ぼう・杉並の自然探索ガイドブック」発行 (3月) ・市民緑地「成田西いこいの森」開設 (3月) ・資源回収事業 (東京ルール I) 本格実施 (6月) ・杉並区分別収集計画策定 (6月) ・集団回収を「報奨金のみ支給」事業に一本化する (7月) ・古布の拠点回収開始 (9月) ・清掃事業所高井戸分室車庫竣工 (10月) ・「杉並区リサイクルひろば高井戸」開設 (11月) ・杉並区環境行動指針を考える区民フォーラム検討開始 (10月) ・清掃事業所竣工 (12月) ・清掃事業所高井戸分室事務棟竣工 (12月) ・ISO14001 認証取得に向けた方針を決定 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京エネルギービジョン」策定 (3月) ・「東京都水マスタープラン」策定 (3月) ・玉川上水 (開渠部分) が歴史環境保全地域指定 (3月) ・環境保全資金 (個人向け) 融資あっせん制度創設 (4月) ・東京都ビル緑化検討会の提言を発表 (5月) ・杉並清掃工場 ISO14001 認証取得 (自治体の清掃工場としては全国初) (6月) ・「環境方針」策定 (7月) ・ディーゼル車NO作戦展開 (8月) ・「自動車使用に関する東京ルール」策定 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁に係わる環境基準の一部改正 (2月) ・悪臭防止法施工規則の一部改正 (3月) ・地球温暖化対策の推進に関する法律施行 (4月) ・「環境影響評価法」施行 (6月) ・環境庁と厚生省の合同専門課会議、ダイオキシンの耐用1日摂取量の見直しに関する報告書 (6月) ・「ダイオキシン類対策特別措置法」成立 (7月) ・「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法)」成立 (7月) ・気候変動に関する国際連合枠組条約第5回締約国会議 (ボン) 開催 (10月)
2000 (平 12)	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区一般廃棄物処理基本計画策定 (2月) ・「杉並区ダイオキシン類の発生抑制に関する条例」公布 (3月) (12年6月1日施行) ・「杉並区の清掃事業」発行 (3月) ・清掃事業の区移管に伴う組織改正により環境清掃部の設置 (4月) ・一般廃棄物分別収集計画 (平成12年~16年) スタート (4月) ・緑化指導「緑化調整基準」改訂 (4月) ・特別保護樹林「貴重木」制度発足 (4月) ・杉並中継所に関する環境点検調査実施 (6月、7月) ・杉並区清掃審議会発足 (7月) ・杉並中継所に関する環境モニタリング調査 (7月) ・杉並区環境行動指針 (区民・事業者編) 策定 (9月) ・杉並区清掃審議会に対し『杉並区一般廃棄物処理基本計画の見直しについて「ゼロエミッション型社会」を目指すための方策について』を諮問 (9月) ・わがまちクリーン大作戦事業開始 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都景観条例に基づき、玉川上水が景観基本軸に指定 (1月) ・東京都庁 ISO14001 認証取得 (2月) ・杉並清掃工場「環境報告書」発表 (2月) ・「東京都ダイオキシン類対策取組方針」の改定 (3月) ・清掃事業を特別区へ移管 (4月) ・東京都清掃局の廃止、清掃事業環境局所管へ (4月) ・「緑の東京計画」の策定 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 (容器包装リサイクル法)」完全実施 (4月) ・「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (グリーン購入法)」制定 (5月) ・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)」制定 (5月) ・「循環型社会形成推進基本法」制定 (6月) ・「資源の有効な利用の促進に関する法律」の一部改正 (6月) ・「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律 (食品リサイクル法)」制定 (6月) ・気候変動に関する国際連合枠組条約第6回締約国会議 (ハーグ) 開催 (11月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
2001 (平 13)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並中継所に関する環境モニタリング調査実施 (2, 6, 8, 11 月) リサイクルショップすぎなみ閉店 (3 月) 「杉並中継所搬入ごみ組成調査報告書」発行 (3 月) 杉並区フロン回収事業終了 (3 月) マイバッグ推進連絡会発足 (6 月) 杉並ごみ会議開催 (7 月～10 月) (仮称) 環境・リサイクルセンター着工 (9 月) 廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業の実施 (9 月～11 月) 「杉並区の清掃事業」発行 (10 月) ISO14001 の認証取得 (10 月) 「環境博覧会すぎなみ 2001」開催 (10 月) マイバッグコンテスト事業開始 (10 月) 杉並区清掃審議会から「杉並区一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」の中間答申 (10 月) 「杉並区防鳥用ネット配布要綱」改正 (11 月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条例) 施行 (4 月) 「東京における自然の保護と回復に関する条例」の改正 (4 月) 「東京都緑のボランティア制度」発足 (8 月) 「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条例) に基づく「化学物質の適正管理」及び「土壌・地下水の汚染の防止」に関する条項が施行 (10 月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」施行 (4 月) 「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」告示 (5 月) 「自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法 (自動車 NOX 法)」の一部改正 (6 月)、施行 (12 月)、粒子状物質も対象となる。 都市緑地保全法の改正 (緑化施設整備計画認定制度の創設等) (8 月) 気候変動に関する国際連合枠組条約第 7 回締約国会議 (モロッコ) 開催 (10 月)
2002 (平 14)	<ul style="list-style-type: none"> 杉並区環境審議会に対し「杉並区環境基本計画のあり方について」を諮問 (1 月) 杉並中継所に関する環境モニタリング調査 (2, 6, 8, 11 月) 「杉並中継所搬入ごみ組成調査報告書」発行 (3 月) 「みどりのボランティア杉並」発足 (3 月) 杉並区フロン回収事業終了 (3 月) 杉並区粗大ごみ受付センター開設 (4 月) 杉並区レジ袋削減推進協議会発足 (5 月) 事業系可燃ごみの夜間収集モデル事業の実施 (6 月) みどりのイベント 2002 の実施 (6 月) 杉並区環境審議会から「杉並区環境基本計画のあり方について」答申 (7 月) 集合住宅等ごみ収集対策の規則改正及び要綱制定等 (7 月) 杉並区清掃審議会から「杉並区一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」の最終答申 (7 月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「東京都廃棄物処理計画」策定 (1 月) 「東京都環境基本計画」策定 (1 月) 「地球温暖化阻止！東京作戦」開始 (2 月) 在宅医療廃棄物 (使用済み注射針) 回収モデル事業の実施 (11 月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「土壌汚染対策法」公布 (5 月)、施行は平成 15 年 2 月。 「杉並区における不燃ごみ中継施設健康被害原因裁定事件」について、公害等調整委員会の原因裁定 (6 月) 「京都議定書」の締結及び「地球温暖化対策推進法」の一部改正 (6 月) 「使用済み自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)」公布 (7 月) 東京大気汚染公害訴訟 (1 次) 判決 (10 月) 気候変動に関する国際連合枠組条約第 8 回締約国会議 (ニューデリー) 開催 (10 月) 騒音規制法等 (振動、悪臭) 三法の政令改正—地域の指定、規制基準等の設定権限、自動車騒音の常時監視等の特別区への移譲 (12 月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
2002 (平 14)	<ul style="list-style-type: none"> ・目玉模様等ごみ袋の実験（8月～9月） ・「杉並区みどりの基金」創設（10月） ・みどりの実態調査実施 ・「屋上・壁面緑化助成制度」実施（10月） ・区立保育園・障害者施設でペットボトル回収開始（10月） ・「環境博覧会すぎなみ 2002」開催（10月） ・在宅医療廃棄物（使用済み注射針）回収モデル事業の実施（11月） 		
2003 (平 15)	<ul style="list-style-type: none"> ・カラス対策ごみ集積所実態調査第2回実施（1月） ・杉並リサイクル協会法人格取得、特定非営利活動法人すぎなみ環境ネットワーク改組（1月） ・資源抜き取り監視パトロール開始（1月） ・「杉並区環境マネジメントシステム（ISO14001）実施状況報告書」発行（1月） ・「杉並区環境基本計画」改定（2月） ・杉並中継所に関する環境モニタリング調査（2、5、6、8、10、11月） ・「杉並区地域省エネルギービジョン（杉並区における省エネルギー推進のための指針）」策定（2月） ・「杉並区一般廃棄物処理基本計画」改定（3月） ・「杉並区一般廃棄物処理基本計画基礎調査結果報告書」発行（3月） ・「杉並中継所搬入ごみ組成調査報告書」発行（3月） ・「カラス対策ごみ集積所実態調査報告書」発行（3月） ・杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例改正（3月） ・「杉並区河川水質分析データ集（平成4年度～平成13年度）」発行（3月） ・騒音規制法等に基づく規制地域、規制基準等を公示（3月） ・「杉並区生活安全及び環境美化に関する条例」（15年10月1日施行）公布（3月） ・みどりのイベント 2003 の実施（6月） ・CNG車購入補助金、粒子状物質減少装置装着補助金制度の創設（7月） ・外国人ごみ会議開催（7月） ・路上禁煙地区（荻窪、阿佐谷、高円寺）の指定（10月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京の名湧水 57 選を選定（1月） ・「東京都環境影響評価条例」改正（1月） ・「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例施行規則」改正（2月） ・パーソナルコンピューターの自主回収について業界と交渉。都内においては事業者が 100%回収することとなった（7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然再生推進法」施行（1月） ・パーソナルコンピューターの製造等の事業を行う者の使用済みパーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令の一部改正（4月） ・玉川上水を史跡に指定（8月） ・家庭系パソコンのリサイクル制度開始（10月） ・気候変動に関する国際連合枠組条約第9回締約国会議（ミラノ）開催（12月）

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
2003 (平 15)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンスタンドの炭化水素系物質排出防止設備（ペーパーリターン装置）の設置状況調査（10月） ・高円寺・阿佐ヶ谷駅周辺容器出しモデル事業開始（10月） ・「環境博覧会すぎなみ 2003」開催（10月） ・自動車騒音の常時監視の実施（11月） ・ガラス瓶リサイクル道路への資源提供（12月） ・児童館でペットボトル回収開始（12月） ・第1回中学生ごみ会議開催（12月～16年2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル車規制を開始（10月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新短期規制（自動車排出ガス規制）の実施（10月）
2004 (平 16)	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並中継所に関する環境モニタリング調査実施（1、2、4、6、8、10、12月） ・杉並区みどりの基金緑化活動助成実施（2月） ・「杉並中継所搬入ごみ組成調査報告書」発行（2月） ・杉並区転居廃棄物の持込みに係る取扱要綱制定（2月） ・路上禁煙地区（西荻窪）の指定（2月） ・緑化副読本「みどりとわたしたち」全面改訂（3月） ・「プラスチック分別収集予定地区不燃ごみ組成調査報告書」発行（3月） ・「杉並区民のアイデア・発意によるごみ減量化の実現に向けての基礎的検討結果報告書」発行（3月） ・廃プラスチック分別収集モデル事業（ケミカルリサイクル）の実施（3月） ・「杉並区環境清掃審議会条例」公布（3月） ・杉並区立すぎなみ環境情報館開設（4月） ・みどりのイベント 2004 の実施（6月） ・「すぎなみ公園育て組」発足（7月） ・「都市のみどりを守る」緊急フォーラム開催（8月） ・柏の宮公園開園（10月） ・「環境博覧会すぎなみ 2004」開催（10月） ・すぎなみ環境賞事業開始（10月） ・ペットボトル集積所回収モデル事業開始（11月） ・「杉並区生活安全及び環境美化に関する条例」一部改正（委託、代執行規定新設）（11月） ・杉並ごみ半減プラン策定（12月） ・第2回中学生ごみ会議開催（12月～17年2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチックの発生抑制・リサイクルの促進について都廃棄物審議会が答申（5月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市緑地保全法改正（6月）

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
2005 (平 17)	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区みどりのベルトづくり計画策定 (1月) ・杉並区みどりのリサイクル計画策定 (1月) ・杉並中継所に関する環境モニタリング調査実施 (2、5、8、11月) ・路上禁煙地区 (上井草・高井戸) の指定 (2月) ・カラス対策「黄色いごみ袋」使用実験開始 (2月～8月) ・「杉並区地域省エネルギー等懇談会」発足 (3月) ・杉並区みどりの基金緑化活動助成実施 (3月) ・「杉並中継所搬入ごみ組成調査報告書」発行 (3月) ・可燃ごみの午前中収集強化 (4月) ・「プラスチック製容器包装分別収集」区内 1/6 地区に拡大 (4月) ・環境管理システム構築支援補助金制度の創設 (4月) ・杉並区みどりの基本計画改定 (4月) ・みどりのイベント 2005 の実施 (5月) ・「リサイクル報」を拡充し、清掃情報紙「ごみパッケン」として発行開始 (5月) ・在宅医療廃棄物 (使用済み注射針) 回収事業補助金交付要綱制定 (6月) ・杉並区分別収集計画改定 (6月) ・17 年度清掃外部監査 (6月～9月) ・オール東京喫煙マナーアップキャンペーン (7月～8月) ・カラス対策「黄色いごみ袋」を杉並区推奨可燃ごみ収集袋第 1 号として認定 (9月) ・「環境博覧会すぎなみ 2005」開催 (10月) ・「杉並区アスベスト飛散防止に関する指導要綱」制定・施行 (11月) ・集団回収業者登録制度開始 (12月) ・第 3 回中学生ごみ会議開催 (12月～17 年 1 月) ・「杉並区アスベスト調査費補助金交付要綱」制定・施行 (12月) ・「黄色いごみ袋」モデル事業開始 (12月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・「京都議定書」発効 (2月) ・大気汚染防止法による揮発性有機化合物の規制強化規定の施行 (6月、一部は 18 年 4 月) ・クボタ旧尼崎工場従業員の家族や周辺住民のアスベスト被害が公表され全国にアスベストに対する不安が広がる (6月) ・石綿障害予防規則が施行 (7月) ・アスベスト問題への当面の対応を発表 (7月、順次改訂)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
2006 (平 18)	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみの日曜収集・区民持込制度開始 (2月) ・雑紙集積所回収モデル事業開始 (2月) ・杉並中継所に関する環境モニタリング調査実施 (2、5、8、11月) ・「すぎなみ注目動植物～レッドデータブックの実現にむけて～」を発行 (3月) ・「杉並中継所搬入ごみ組成調査報告書」発行 (3月) ・CNG車購入補助金、粒子状物質減少装置装着補助金制度終了 (3月) ・「杉並区みどりの条例」全面改正 (18年7月1日施行) (3月) ・一般廃棄物処理業の許可及び浄化槽清掃業の許可に関する事務が、東京二十三区清掃協議会から移管 (4月) ・都派遣職員の身分切替えが行われる (4月) ・清掃事務が区に完全に移管される (4月) ・これまで清掃協議会の事務であった「清掃車両借上事務」について、資源と粗大が各区事務となった (4月) ・「プラスチック製容器包装集積所回収」区内1/3地域に拡大 (4月) ・みどりのイベント2006の実施 (5月) ・杉並区地域省エネ行動計画策定 (6月) ・「廃プラスチックサーマルリサイクルモデル事業」区内2地域で実施 (10月) ・ペットボトル集積所回収モデル事業拡大実施 (10月) ・「環境博覧会すぎなみ2006」開催 (10月) ・杉並区環境清掃審議会に対し『杉並区一般廃棄物処理基本計画の見直しについて「循環型社会の実現に向けた廃棄物の減量及びリサイクルの推進に関する今後の取組について」』を諮問 (11月) ・第4回中学生ごみ会議開催 (12月～19年1月) ・「落ち葉感謝祭2006」の実施 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・23区一部事務組合で初めての「一般廃棄物処理基本計画」策定 (1月) ・「東京都廃棄物処理計画」策定 (9月) ・ディーゼル車規制の基準値が強化される (4月) ・「特別区事務処理特例条例」を改正し、「大気汚染防止法」に基づく事務の一部(アスベストに係る届出等)について特別区に事務権限を委譲 (4月) ・アスベスト成形板対策検討会設置 (6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿規制強化のため、大気汚染防止法を改正。建築物、吹付け面積の規模要件がなくなり、石綿含有の保温材、断熱材なども対象となる (3月) ・労働安全衛生法施行令の改正・施行。石綿を0.1%超えて含有するものを規制対象とし、代替困難な一部製品を除き、石綿等の製造等が全面禁止となる。(9月) ・石綿障害予防規則の改正・施行。封じ込め又は囲い込み作業について除去作業に準じた措置を行うこととなる。作業記録及び健康診断の結果の記録の保存期間が延長され40年間となる。(9月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
2007 (平 19)	<ul style="list-style-type: none"> ・サミットストア成田東店において、レジ袋有料化実証実験を実施（1月～3月） ・「杉並中継所搬入ごみ組成調査報告書」発行（2月） ・杉並中継所に関する環境モニタリング調査実施（2、5、8、11月） ・「杉並区廃プラスチックサーマルリサイクルモデル収集に伴う組成調査報告書」発行（2月） ・「ごみ・リサイクルに関する区民アンケート調査報告書」発行（3月） ・「カラス対策ごみ集積所実態調査報告書」発行（3月） ・みどりのイベント 2007 の実施（5月） ・杉並区環境清掃審議会から「杉並区一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」答申（7月） ・いなげや杉並新高円寺店において、レジ袋有料化モデル事業を実施（8月～11月） ・可燃ごみ夜間収集モデル事業を終了（9月） ・オリンピック高井戸店食品フロアにおいて、レジ袋有料化モデル事業を実施（9月～11月） ・すぎなみ省エネ作戦 Web サイトを開設（10月） ・荻窪駅周辺での「黄色いごみ袋」モデル事業実施（10月） ・廃プラスチックサーマルリサイクルモデル事業を 42,000 世帯に拡大（10月） ・資源の集団回収を 2 世帯から実施できるよう登録要件を緩和した（10月） ・「環境博覧会すぎなみ 2007」開催（10月） ・杉並区一般廃棄物処理基本計画素案公表（12月） ・第 5 回中学生ごみ会議開催（12月～20 年 1 月） ・「落ち葉感謝祭 2007」の実施（12月） ・みどりの実態調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国初「アスベスト成形板対策マニュアル」を作成（3月） ・東京都気候変動対策方針策定（6月） ・「緑の東京 10 年プロジェクト」基本方針策定（6月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第 4 次評価報告書統合報告書公表（11月） ・環境省が「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」を作成（8月）

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
2008 (平 20)	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区一般廃棄物処理基本計画改定 (2月) ・杉並中継所に関する環境モニタリング調査実施 (2、5、8、11月) ・我が家の省エネアイデア募集及び優秀賞の決定 (3月) ・第5次杉並区自然環境調査報告書発行 (3月) ・消灯イベント「世界自然保護基金(WWF)アースアワー」に日本で唯一の自治体として参加 (3月) ・いなげや杉並桜上水店において、レジ袋有料化モデル事業を実施 (3月～) ・東田町バス通り商店会において、レジ袋有料化モデル事業を実施 (3月～) ・大丸ピーコック久我山店において、レジ袋有料化を実施 (3月～) ・「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例の施行 (4月) ・廃棄物処理手数料の改定 (4月) ・廃プラスチックサーマルリサイクルを全域で実施 (4月) ・プラスチック製容器包装とペットボトルの集積所回収を全域で実施 (4月) ・古紙早朝回収兼資源持ち去りパトロール (3台) を実施 (4月) ・粗大ごみ収集の民営化。区内全域1エリアでの回収開始 (4月) ・みどりのイベント2008の実施 (5月) ・正用記念財団、清掃一組と杉並清掃工場の建替に関する覚書締結 (10月) ・「環境博覧会すぎなみ2008」開催 (10月) ・「落ち葉感謝祭2008」の実施 (12月) ・第6回中学生ごみ会議開催 (12月～21年1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画2008策定 (3月) ・東京都環境確保条例改正 (7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都議定書第一約束期間 (2008～2012) 始まる (8月) ・第2次循環型社会形成推進基本計画策定 (3月) ・「エネルギーの使用の合理化に関する法律」改正 (5月) ・「地球温暖化対策の推進に関する法律」改正 (6月)

年	杉並区の動き	東京都の動き	国、国外、社会等の動き
2009 (平 21)	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋不要カードを区内コンビニエンスストアに設置 (1~6月) ・杉並中継所に関する環境モニタリング調査実施 (2月) ・杉並中継所操業終了 (3月) ・不燃ごみにおけるガスボンベ等の分別回収 (4月) ・ペットボトル拠点回収の縮小 (4月) ・住宅用太陽エネルギー利用機器及び省エネルギー機器導入助成開始 (4月) ・高円寺地区を「みどりのベルトづくりモデル地区」に指定 (4月) ・協定に基づき杉並区商店会連合会に属する区内商店で「レジ袋削減協力金箱」の設置開始 (5月) ・資源の収集・運搬禁止命令違反者に対する氏名等の公表または罰金を科す改正条例施行 (5月) ・みどりのイベント 2009 の実施 (5月) ・「すぎなみ省エネ展」開催 (6月) ・我が家の省エネアイデア募集及び優秀賞の決定 (6月~10月) ・資源の収集・運搬禁止命令違反者に対する第1回刑事告発 (7月) ・路上禁煙地区での過料 (2000円) 徴収開始 (10月) ・「環境博覧会すぎなみ 2009」開催 (10月) ・資源の収集・運搬禁止命令違反者に対する第1回氏名等の公表 (11月) ・「落ち葉感謝祭 2009」の実施 (11月) ・区内コンビニエンスストア等で、なみすけ絵柄のレジテープによるレジ袋削減の取組み開始 (12月) ・第7回中学生ごみ会議開催 (12月~22年1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽エネルギー利用機器補助開始 (4月) ・東京都地球温暖化対策指針策定 (6月) ・東京における自然の保護と回復に関する条例 (自然保護条例) 改正 (3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置補助開始 (1月) ・清掃一組評議会で杉並清掃工場建替計画決定 (3月) ・家電リサイクル法の改正により対象が5品目になる (4月)
2010 (平 22)	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区環境・省エネ対策実施プラン策定 (2月) ・杉並区景観計画策定 (4月) ・環境基本計画改定 (5月) ・みどりのイベント 2010 の実施 (5月) ・杉並区みどりの基本計画の改定 (5月) ・「すぎなみ省エネ展」開催 (6月) ・中学生環境サミット開催 (7月~9月) ・「落ち葉感謝祭 2010」の実施 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度の開始 (4月) ・緑確保の総合的な方針 (5月) 	

<p>2011 (平 23)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品のびんを不燃ごみから資源のびんへ (1月～) ・プラスチック製容器包装の残渣の一部 RPF 化 (4月～) ・東日本大震災清掃職員等派遣支援 (5月) ・みどりのイベント 2011 の実施 (5月) ・第 2 回中学生環境サミット (5～9月) ・「落ち葉感謝祭 2011」の実施 (12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京都電力対策緊急プログラム」の策定 (5月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災 (3月) ・福島第一原子力発電所事故 (3月) ・環境影響評価法一部改正 (4月) ・環境教育等による環境保全の取組に関する法律 (6月) ・電気事業法第 27 条による電気の使用制限 (7～9月) ・「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」(8月)
<p>2012 (平 24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみの受付センター (杉並区コールセンターから環境整備公社へ) (1月～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え工事のため、杉並清掃工場への搬入停止 (～29年度) (1月末～) ・宮城県女川町の災害廃棄物を稼働中の 23 区清掃工場で焼却開始 (3月～) 	



杉並区環境白書（資料編）

平成24年度版
平成24年9月発行

登録印刷物番号
24-0021

編集・発行 杉並区環境部環境課
杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
電話（03）3312-2111（代表）

支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並